

# 横浜市公共建築物マネジメントの考え方（素案）

## 市民意見募集結果



## 目 次

1 アンケート内容 .....	1
2 アンケート媒体別回答数.....	2
3 アンケート単純集計.....	2
4 アンケート年代別集計.....	22

### ～市民意見募集概要～

意見募集期間：平成26年4月11日～5月12日

意見募集方法：①横浜市公共建築物マネジメントの考え方(素案)概要版（回答はがき付チラシ）

約15,000部

主な配架場所 区役所、市民利用施設、大学、病院、図書館等の約1,200施設、

電子メール、FAXによる受付

②電子申請・届出システム

③ヨコハマeアンケート

## 1 アンケート内容

Q0-1:年齢を教えてください。該当するものを選んでください。

- a 20歳未満    b 20歳代    c 30歳代    d 40歳代    e 50歳代    f 60歳代  
g 70歳以上

Q0-2:お住まいはどちらですか。該当するものを選んでください。

- a 横浜市内    b 横浜市外で神奈川県内    c 神奈川県外

Q1 少子高齢化の進展や人口減少が想定されるなど大きな転換期の中で、老朽化が進む公共建築物のマネジメントとして、特に重要だと思ふ取組を選択してください【複数選択可】

- a:今後も施設利用者の安全・安心を確保するために、点検結果等に基づく修繕の優先順位付け等といった、効率的で効果的な保全の取組を進めていく(取組の方向性①)  
b:運営に関する目標設定やコスト・利用状況の把握・評価といった持続的な運営改善や利用者負担の適正化へ向けた取組、新たな運営手法の検討などにより、効率的かつ適切な施設運営を進めていく(取組の方向性②)  
c:必要なサービスの充足を基本としながら、建替などの機会を捉えて、多目的利用や複合化等といった施設の再編整備による施設規模の効率化を進めていく(取組の方向性③)  
d:未利用の土地・建物の貸付・売却等や余剰空間の有効活用、公民連携の促進といった、新たな財源を創出するための取組を進めていく(取組の方向性④)  
e:その他( )

Q2 将来の建替を見据えた再編整備の取組のねらいとして、特に重要だと思ふものを選択してください

【3つまで】

- a:行政コストの縮減    b:利用状況の改善    c:保有資産の有効活用    d:施設の多目的化  
e:住民同士の交流促進    f:多世代交流の促進    g:災害時の連携強化  
h:その他( )

Q3 再編整備を進める際に、地域活動の核になると考えられる施設を選択してください【3つまで】

- a:小学校    b:中学校    c:コミュニティハウス    d:地域ケアプラザ    e:市営住宅(団地)  
f:地区センター    g:図書館    h:老人福祉センター    i:スポーツセンター    j:公会堂  
k:区役所    l:その他( )

Q4 その他、ご意見などありましたらご記入ください

## 2 アンケート媒体別回答数

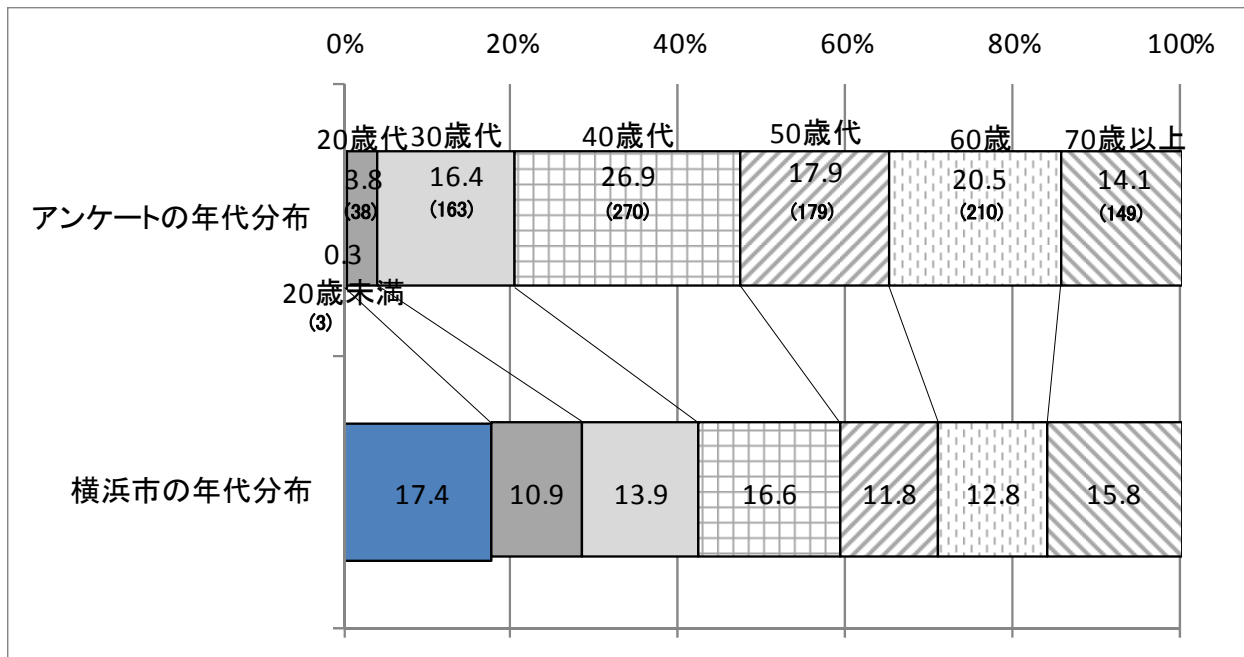
アンケート媒体	詳細	回答数(件)	割合(%)
ハガキ	各公共施設に配置されたアンケート用紙に回答されたもの	185	17.9%
FAX	ファクシミリにより回答されたもの	1	0.1%
電子申請	オンラインによりアンケートに回答されたもの	15	1.5%
電子メール	電子メールにより回答されたもの	2	0.2%
e アンケート	e アンケートシステムに登録された市民により回答されたもの	829	80.3%
合計	-	1032	100%

## 3 アンケート単純集計(媒体合計での集計結果)

**Q0-1: 年齢を教えてください。該当するものを選んでください。**

a 20歳未満    b 20歳代    c 30歳代    d 40歳代    e 50歳代    f 60歳代  
g 70歳以上

- ・40歳代からの回答が最も多く27%を占めている。次いで50歳代、60歳代、70歳以上、30歳代の順になっている。



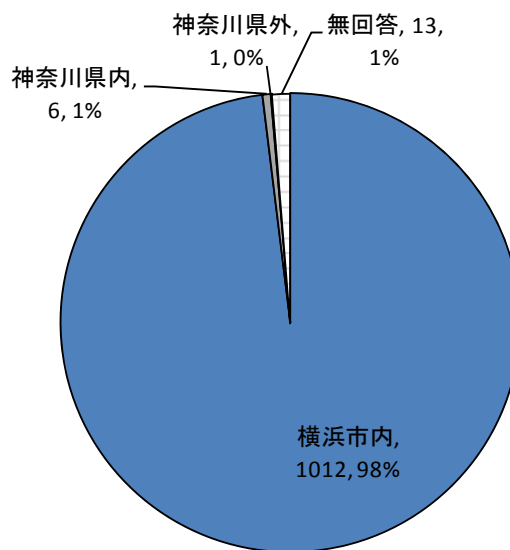
※ 横浜市ポータルサイト 最新の人口動態と年齢別人口より

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/jinko/dotai/new/index-j.html>

**Q0-2: お住まいはどちらですか。該当するものを選んでください。**

- a 横浜市内    b 横浜市外で神奈川県内    c 神奈川県外

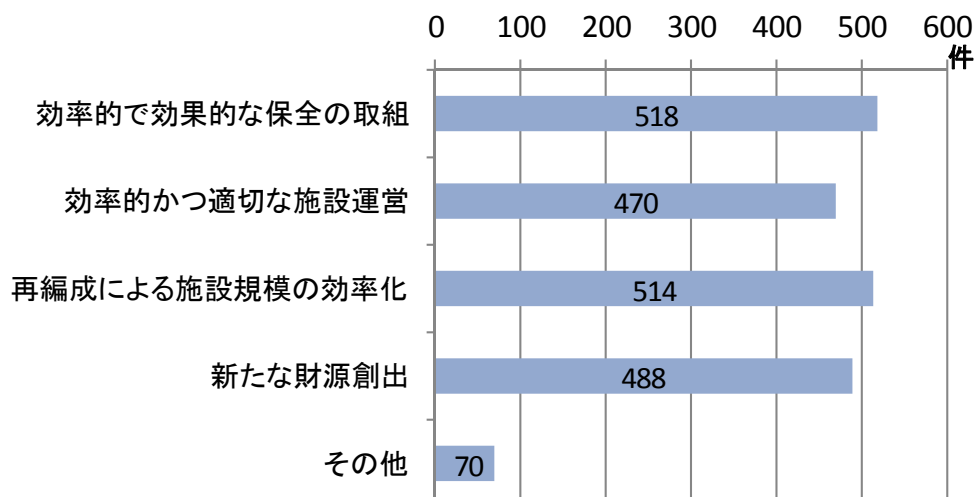
・横浜市内在住者からの回答が大半を占めている。



**Q1: 少子高齢化の進展や人口減少が想定されるなど大きな転換期の中で、老朽化が進む公共建築物のマネジメントとして、特に重要だと思う取組を選択してください【複数選択可】**

- a : 今後も施設利用者の安全・安心を確保するために、点検結果等に基づく修繕の優先順位付け等といった、効率的で効果的な保全の取組を進めていく（取組の方向性①）
- b : 運営に関する目標設定やコスト・利用状況の把握・評価といった持続的な運営改善や利用者負担の適正化へ向けた取組、新たな運営手法の検討などにより、効率的かつ適切な施設運営を進めていく（取組の方向性②）
- c : 必要なサービスの充足を基本としながら、建替などの機会を捉えて、多目的利用や複合化等といった施設の再編整備による施設規模の効率化を進めていく（取組の方向性③）
- d : 未利用の土地・建物の貸付・売却等や余剰空間の有効活用、公民連携の促進といった、新たな財源を創出するための取組を進めていく（取組の方向性④）
- e : その他（                      ）

・4つの取組に大きな差は見なく、全体的に取組を進めることが重要であると考えられる。



Q1 その他意見

建物ごと、事業ごとに行政の担当部署が異なることが非効率で必要な設備改善にならない原因ではないか。
有料化に可能性を見いだせます。行政サービスは受益者負担が原則と考える。
c, d を呈示するとは認識がない。極力損金縮小を迅速に進めてください。c, d 案の余分なお金もないのでは？
運営コストに占める管理費の比率の高さに疑問。内容分析と外部の者の監査を導入してはどうか。行政の目（責任）と市民の目（常識）の乖離があるのではないか。
効率化だけでは本来の目的にならない。
目視によって早期発見のできる技術者（OB）に継続的に依頼する。
新しい施設はいらない。今ある施設を有効利用する。
分散と維持費の低減できる施設。利用者の利便性を考えること。施設までの交通費用が払えない人もいる。
ケースバイケースで複合的に取り組んで、売却はしない。
売却はせず貸付へ。
核家族が特に横浜は多く、孤独な育児をしている母親が多くいます。高齢者の居場所作りや親子広場設置など市民が楽しく、外に出ようとするコミュニケーションの取れる場の充実を今ある施設の利用、複合を含め考えて頂きたいです。
財政状況を踏まえた「必要な行政サービス」の洗い出し。
利用が少なくなったり老朽化、必要性の低くなった施設は廃止していく。
民間への売却を早く進める。
全てをコンクリートで考えず、杉、檜を使い保守、点検、修繕が容易で安価にもっていく。
県と市と決定権の明確さが必要。県営と市営格差の平等。
個別の企画・内容に当たっては、同一様式や統一規格さらには「何処にでもあるような・・・」とならないよう、地域・地区の特性を加味したものを。これについては施設運営を含め「民間活力の活用」「民間との協働」を積極的に導入すべきと考えます。特に施設運営にあっては「地域高齢者の積極的（ボランティア的）」活用も導入しては・・・と考えます。
耐震性を有する統合済の体育館の活用。
老人ホーム、介護施設等を捻じ込ませる。
民間移管等を積極的に進める。
コスト削減のために取り壊し新設しない。
税金の無駄なので、何もしなくて良い。
部分的には民間委託。
税収も望めないことから、費用を抑えた建て替えを検討いただきたい。
利用率の少ない物件は速やかな更地化。
バリアフリーを重点的に。
新規施設の建設にあたり、あらかじめメンテナンスを考慮した予算化を。
エ、と近いが、財源というより活気づけることを重視。
人口も減少するのだから施設も縮小。
施設の選択と集中による、予算の捻出。
公立学校の公共施設併用。図書館や機械による行政サービス設置。
難しくして選択できない。
アウトソーシング。
安易に民間に売却せず、将来を見据え市民の為にストックして欲しい。

徹底的な業務効率化、IT化。
民間物件の活用。
少子化を踏まえて地域の小中学の空き教室などを利用する。
歴史遺産と利便性を分けた取り組み方。
思いきって解体という選択肢も視野に入れた方が良い。
若者の起業等に資する場の提供等にも活用。
横浜観光のメインと捉え取り組んでいく。
人口減少と住まい、人の流れ集いをけん引する運営。
乳幼児及び高齢者を対象とした設備の充実。
神奈川県、近隣の市の設備と統廃合を含め効率的に運営する。
大規模災害に備えての活用を考慮し、その活用性を創造する。
会議室、駐車場などは一般市民に開放する。
重要建築物には現在市内で実施している景観保存の上の新規利用。
将来に費用負担となるものは出来るだけ避けてほしい。
どうしても必要か あったらいいな ではなく厳しい取捨選択を実行する。
少子化をにらみ取り壊し、更地化・公園化も必要。
職員は集会を開きすぎるので不要な会議室は売却し財源確保する。
駅近くの無駄な公共施設を即廃止し、24時間対応の保育設備の活用を。
財源確保の策定、不要保持土地、建物の売却。
建て替え構造物を徹底的に簡素にし維持費や建て替え費用を極小に。
時代のニーズに合わなくなった資産の廃止、取壊し。
財政再建も考慮して実施して欲しい。
運営部署にとらわれない総合的な利用。
この設問がとても分かりにくい内容だ。「適切」と「効果的」の違いは。
施設が老朽化すれば閉鎖し、以後の出費をなくせばよい。
特に地域エゴで近くに来て望まない施設を排除する住民との対話と対決を。例：公共老人施設、デイサービスセンター、保育所（やかましいし、夜まで解放。※時代が変わって使いづらい施設の改善目的の変更を希望す）。
今の時代にあったサービス水準の設定、見直しを踏まえた施設総量の削減（時代の変化とともに必要なサービスの水準も変化しているのではないか）。
点検修繕をしつつ建替時の大きな見直しは当然。現時点での利用効率と市民ニーズは常に調査、使い勝手が良いのかどうか、集客をどうするか考えていく。宝のもちぐされになっていないか？
評価や検討における過程やその結果についての透明性を保証すること。関係者の個人的説明責任を明確にすること。
安心、安全サービス向上に非を唱える人はいない。何事も我慢だ。これが知恵だ。市役所、区役所は市民の遊び場ではない。
解体後に建替えしない場合、緑地等にしておき災害時の防災拠点にする。
公共施設におけるコストや利用者負担を強くおし出すと利益追求になり全てが成り立たなくなるのでは？
小中学校予定地がいつまでも宅地でグラウンドとして利用しているが、学校開放等とバランスよく利用されるべきで、中途半端な利用はもったいない。
サテライト的な施設の拡充（住いの近く）
建替えや保全だけでなく長寿命化も施策の一つとすることが必要。建築材料の技術進歩は著しい。



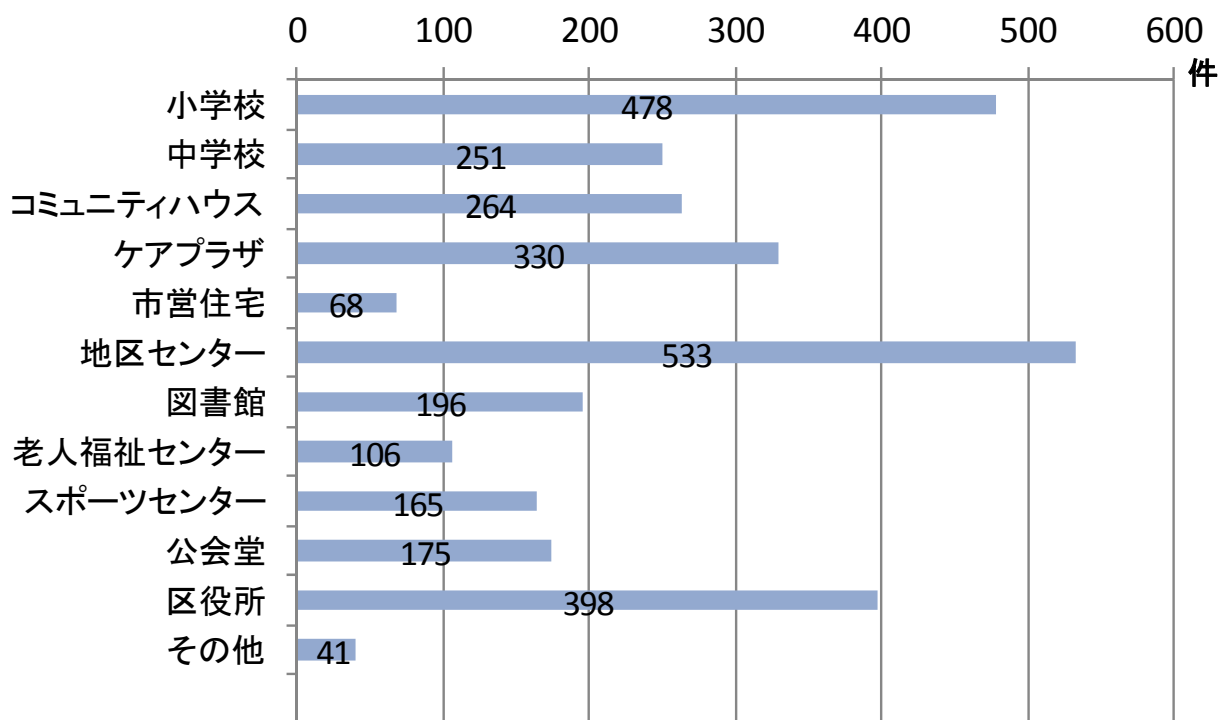


建替えを考慮しないで売却する。
機能によって県と市を合体させる。
壊す費用のほうが修繕費用より掛かるのに壊す無策。
住民の必要としている施設に改善。
不要な施設は立て替える必要はない。
何も重要なものはない。税金を無駄にしないでほしい。
より多くの市民にとって魅力ある建物およびその周知。
交流の場を設ける事で必要な改善や連携を見出せると思う。
無駄な施設の廃止も念頭にいてもらいたい。
建替前提で議論すべきではない。売却も視野に。
低いニーズの廃棄。
維持管理を容易にし、管理コストを削減するための戦略。
インセンティブ設計を含めてボランティアによる維持活動を計画すること。
現在の人口に応じ、古い施設を壊す。
地域視点で複数の施設トータルで総合的に効率的に活用することが必要。
市は今後災害時に来訪者の避難先となるよう、公共的な施設として残されたい。
箱物から、暮らしかた(ソフト)の向上に頭を切り替えて欲しい。
エ・オ・カ・キの結果ア・イ・ウが達成できるのでは。
建て替えありきではないと思う。
存在の周知と利用しやすさをアピール。
利用促進ではなく、利用状況の見える化。
利用者が固定化している施設の廃止。
神奈川県、近隣の市の設備と統廃合を含め効率的に運営する。
運営の民営化を進める。
建て替えは極力避ける方向を考えるべき。
建物をなくせば使用しなくなり職員の仕事が効率的になる。
受益者負担、民間への委託、遊休保有資産の賃貸、とにかく安物にし、必要に応じて、追加削除するように。
行政機関の機能を充実化。
施策決定と実施において法を順守すること。住民からの監査請求に対して真摯に対応すること。
横浜の長所は短所の裏返し→災害ミニマム化へ。公共ニーズでの建物も管理は民間にゆだねる。ただし天下りは避けること（←これが心配だが）。アクセス（交通、通信）も大事ですね。
建替えする場合、小さな施設はビルの的なものにせず、建築解体が容易なプレハブ的なものにする。防災センター程度のもの)
周辺団地などの建替促進のための仮住居としての一時利用施設としての活用などを検討できないでしょうか（使用しない時は非常時避難住宅として活用するなど）
建替えの際に住民の意見を十二分に聞くことが必要。いかにそれら意見を具現化できるか。単なる行政のみせかけのヒアリングやパブリックコメント徴収が目につく。

**Q3:再編整備を進める際に、地域活動の核になると考えられる施設を選択してください【3つまで】**

- a:小学校 b:中学校 c:コミュニティハウス d:地域ケアプラザ e:市営住宅(団地)  
 f:地区センター g:図書館 h:老人福祉センター i:スポーツセンター j:公会堂  
 k:区役所 l:その他( )

・回答が多い方から順に、「地区センター」、「小学校」、「区役所」となっている。

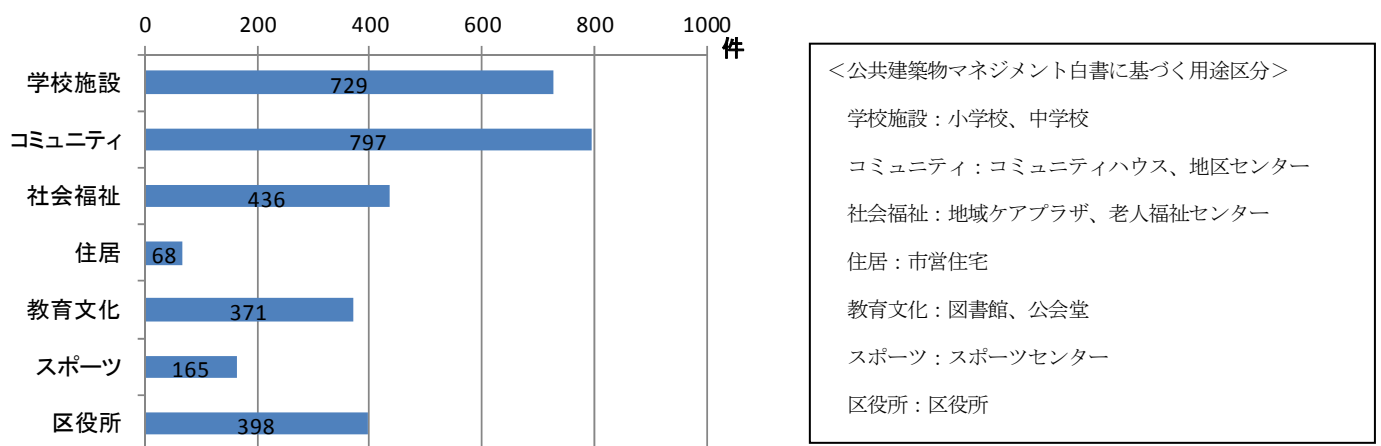


Q3 その他意見

週末・休日の公開。子供の安全確保に工夫
文化体験施設の活用
保育園
保育園と小学校・中高一貫校を推進
駅
災害時の仮設住宅建設用地および管理棟の確保
駅
市営バスの車庫
保育園・幼稚園
ショッピングセンター
駅近の公園
地域活動はしなくて良い
大規模な公園
カフェ
アリーナ(新設する物も含めて)
インターネットカフェのような施設
駅、コンビニ、などもっと柔軟に考えて欲しい

上記のような選択で分類して活用することは効率的ではない
市庁舎、文化体育館、教育文化会館など関内地区の施設
社会構造の変化に応じ、用途変更できること
ショッピングセンター
住民が運営するコミュニティカフェ
プール
駅
公園、遊休施設
耐震性を有する体育館の災害時の活用
公園
町内会館、団地集会所等
市営住宅ケアプラザなどの施設は土地の安いところに作るべきである
幼児、児童の保育施設 24時間だれでも利用
団地集会所
町内会館
駅、コンビニ、スーパー
総合商業施設
診療所
保育所、有料老人ホーム、デイサービスなどを一体化した施設
学校の規模は大変大きく複数の施設が共同運営できる。今後、廃校となる学校も増えるのか？もしそうであれば、計画的に他の拠点との連携集約も可。小学校は場所的にも近い位置にあり、利用価値高い。箱をつくれれば完結ではない。利用効率、内容をしっかりチェック！！
基本的には屋根のある空間でよい。
自治会館
こどもログハウス
鉄道駅への施設付加が重要。

・コミュニティ施設及び学校施設が地域活動の核になる施設と考えられている。



**Q4:その他、ご意見などありましたらご記入ください**

・全 285 件の意見をいただきました。

市役所、区役所、地区センターで上から下へダブらせないでなるべく現場（地区センター）の状況・要望を聞くこと。
〇〇公会堂などまだ使えそうなものは民間の力も活用して有効利用したらよいと思う。区役所が移転するからといって取り壊すのはもったいない。
住居と地区センターと行政を統合し、密接な関わりをして行くと良いとおもいます。介護、保育を中心に！
スケールメリットがあるとバブル期に投資しすぎなのでは。土地建物の早急な整理が急務では。既に遅いですが早めの身の丈にあった対応（売却）で傷の拡大を防いでください。
JR 東戸塚駅周辺全般にかつ現在の状況から、横浜市の努力に満足かつ感謝している。現在の地では各分野の指導者に恵まれていること並びに最寄駅からの「近さ」と人口密度の高さから望ましい結果が得られている。地域ごとの特性は私にはわかりません。
将来を見据えて役所異動を少なくし、じっくりと地域に根を降ろした活動とする。
計数や理論から入り立派素案に見せ掛けている。地域や施設の実情を反映した実践的な案にすること。
4つの方向性は夫々必要なことだと思います。特に災害対策と高齢化の問題が重要ですのでそれらを踏まえて実行していってほしい。
各施設の稼働率等を算出して施設ごとに修繕したり、売却の方向に切り替えを検討していくことは大切だと思います。人口がこの先減少していくのですから。
有意義な計画、実施を望みます。
都筑区、港北NT、10年後、20年後、人口が減ると予想されます。保育所、学校等余剰スペースが発生、学童保育等の利用、多目的に利用できる制度を作ることが必要と思います。
市営住宅の駐車場に介護事業所の車が無償で利用できるような仕組みがあると良いと思う。市営住宅の住宅管理者でもある保全協会は、建物の管理だけではなく、住居者の生活にも目を向けた、関わり（安否確認等）を持って、区役所や地域の自治体とも連携して頂きたい。
高齢者の楽しみ、交流の場（機会）を今より減らさないで欲しい。
地域とPTAなどが協力し高齢者と児童が安心して暮らせる街づくりとコミュニティが有るといいです。設備や仕上げは古くなります。将来改修可能な仕上げとしてください。自然のものを使いましょう。石、木、土、自然光も使いましょう。サマータイムにしましょう。
第一に施設保全でも思い切って再編（廃止）も必要である。
少子高齢化も時間差はあるがいずれ減少すると思う。将来人口推移を予想し、財源の確保については利用者負担も大いに進めるべきと思う。
施設の集約を大胆に行うべきである。現状明らかに機能が重複している施設があり稼働率が低いものは民間に売却すべきである。
アンケートの設問と説明が良く判らない。重複している説明ぶりもあるように思われるので、もっと簡潔にして明解な説明が望まれる。
学校の先生方は雑務におわれ、授業に専念できない状況が続いている。くれぐれも先生方に付帯のないよう配慮を。
特定の者だけが使用する物は不可でしょう。

横浜市は5大都市であることをお忘れなく。見合った機能的最高の建物を建築されたい。
市の事務効率化、議員の削減、事業の再見直しにより縮小・廃止を行い、税金に見合った事業運営を行うべきである。（本来は税金の減額が望ましい。）
団地は建替えにより安全で若い人の利用を増やすべき。
利用地域の中心部に公共施設が望ましい。
区役所は区に1つしかない。一方学校は市域にまんべんなく配置され、地域活動もある程度学区を前提に取り組みられているので、小中学校の場所はとても大切。
サービスの内容は（主観的で）難しいところですが、柔軟な考えが基本となると思います。
「取組の方向性③」への賛成誘導の意図が感じられたのは私だけか？
横浜の図書館はどこも昔のままで地方の図書館や公共施設の充実にもっと目を向けた方が良いと思います。図書館司書の配置を条件とすれば民営化も悪くないと思います。市民活動の活力を生む場として、学習スペースや読書スペースの拡大を建て替えと共に求めます。
施設を安心して利用し続け、その機能を確保し続けるためには保全するお金や支えられる規模にすることも大切だと思う。不便になる人もいるので大変なことではあるが、安全な施設の維持のために何が大切かを皆で分かち合えるようにして取組を進めてもらいたい。
「厳しい財政見通しの中、市民ニーズに適切に対応する」とは、「財政状況に見合った行政サービスを提供する」ということと同義だと思います。 このマネジメントを実施するためには、持続可能な行政サービスの量、質、運営方法などの検討が必須であると考えます。また、再編整備の具体化を急ぐ必要はありますが、一方で事例の積み上げのみならず、確実に目指すべき公共建築物の質、量（★印の位置）に辿り着くロードマップが必要であると考えます。 建築物の老朽化は、徐々に進行するため専門家以外にはわかりにくいものです。建築物の安全が大切であること、老朽化する状況はわかりにくいこと、保全費が十分でないこと、に加え、修繕工事を実施した経過など、できる限りの情報を開示し、保全対策が講じられるまでの間、市民や事業者の力も借りながら、重大事故につながりかねない危険個所の早期発見につなげる策を講じるべきであると考えます。（はまロードサポーターのようなもの）
長期的に安全が確保できるマネジメントを実施する必要がある。長期計画を住民に示す必要がある。「15年後には地区センターが小学校に移設される」等の情報を示す。住民は全市民の利益を考え協力を行う。
人口の密度分布を予測し、むしろ行政で誘導してその場所に多目的化した（特に防災をにらんで）ものを建設していく。
一般市民の運営。人事に参加要す。
住民のニーズをよく聞き、検討し、よく説明をしてから、公共建築物のマネジメントをしてもらいたい。
安全性を犠牲にすることなく、運営していくためには、選択と集中を進めることが必要だと思う。思い切って廃止することも考えるべきだ。それがダメなら売却したらどうか。
様々な世代の人たち、様々な目的を持った人たちが同一の場所に集まることで生まれる相互理解、交流は必要である。
安心、安全な街づくりの為に町内会、自治会等へ行政の積極的な参加提案。
3世帯交流が行われる建築物が増えると良いと考えます。
小中学校（特に市内の）との連携を強め、授業の中に取り込むこと。 孫と高齢者の利用を進め利用し易くする。

食事や買物もしっかりできるように入館者を増やす努力をお願いします。
Q1 はすべて重要なこと。順位付の方が良いのではないか？
障害者の地域参加を進めて欲しい。
新年賀詞交換会が出来る会場を〇〇区に建設して欲しい。
人員削減。地下鉄運転手無人化。バス等民間委託（給与民間なみに）建物建てずに福祉設備（小学校等）活用。市税削減。
全てに細かくブレークダウンをしてPDCAを廻力する。その際、期限と責任者を明確にする。
市の保有している土地は売却を進めるべきだと思う。
新しい施設をつくる予算があるのなら、今ある施設を長く有効に使えるための予算に充てて欲しい。
地区によって利用状況が違いうように職員の対応も違うので困る。市内の施設に、市外のパート職員では話が通じないと思うが、市内の施設に市内の住人が良いと思う。
市営住宅に付随する自治会館は100%市の負担で新築、改修がなされているが、それ以外の自治体の自治会館の新築・改修には高々50%しか補助がない。この不公平感を少しでも解消して欲しい。
市民の声の尊重。
行政側の予算の都合で、出来る事が減少していると思う。雨漏りも修繕できない。財源不足は県民、市民の責任ではありません。県政、市政の運営者の出来もしない計画を回すことをやめればの決断が必要。
地域での各種のコミュニティ活動を見ると官（行政）と民（民間ボランティア等）企画・種目でかなり重複しており、そろそろ整理・統合の時期に来ていると考えられ、そんな事にも配慮し進めて頂きたい。特に「趣味的（含む、スポーツ系）なコミュニティ利用については、少し高めの利用料設定でも良い・・・」と考える。
〇〇区の〇〇跡地にある耐震性を有する建築物の取り壊しに一考を。提案として区長および市長に提案した、大規模災害時の防災拠点や仮設住宅棟の建設地として最適な〇〇公園を利用した活用。取り壊して公園を広げるのが計画と回答されたが。広げる必要は無い。 業者との癒着が疑われる。（〇〇造成時の〇業者）
若年層が、区役所行く！や、公会堂で映画やるから一緒に出かけよう！などと気軽に言える、気軽に行きたくなる施設や、設備があるといい。
核家族世帯が増えている中、地区センターや地域子育て支援拠点など、子育ての相談や交流場所が身近にあるのが心強いです。多くの方が気軽に利用できるよう広報活動を更に充実させていって欲しいです。
横浜市公共建築物マネジメントの考え方の資料が読みづらく、データも説明されないと理解出来ませんでした。関係者に説明するには重要なデータなのかもしれませんが、関係者以外のために簡潔にして下さい。
無縁社会となった今、縁とは何か考え、個人主義から必要な部分は協力しながら生きるといういわば公の自分というのを意識した生活にシフトできるようにこういった施設の運営は頑張ってもらいたい。
インターネットを使った情報発信やデジタルサイネージ等デジタル機器を配置するなど、今まで地域にあまり来られなかった人にも関わられるような施設になることを期待します。
使用実績の低い建物は早急に売却し、その利益を市債の償還に充てるのが望ましい。
民間企業が行っている事を行政でも行ってほしい。
拠点ばかり増えて、内容が伴っていない。一部の人間が繰り返し使っているだけで無駄が多い。

使わないものを増やしてもと思うのであまり使われていない部分の削減も考えてやってほしい。
スポーツセンターは利用する人が限られているので必要ない。
コミュニティセンターや地区センターが多すぎるのでこの機会に統廃合してはどうか。
もともと詳しくないこともあります、設問に具体性がなく答えにくいです。
多目的な広場（それぞれが好きなことができるスペース）がもっとあってほしいです。
地域ケアプラザ、地区センター、公会堂、区役所の統合を進めるべき。
古い建物でも、トイレが新しめでキレイだったり、食堂のメニューが豊富だったりすると、多少不便でも利用しようと思います。
施設利用実績を詳細に検証することで、減免の見直しにより利用者負担の適正化を図り、必要なサービスの提供に特化していくべきと考えます。
高齢者の触れ合う場所は地元でも増えました。今後は若者が交流できる場が必要。
難しい問題で、年齢を超えた、何か良いアイデアがあればいいのですが。
予定されている横浜市の新市庁舎の建設、本当に必要なのかどうか・非常に疑問です。林市長には期待しておりますが、この建設に関しては多くの市民は賛同していないと思います。
図書館を幼児からお年寄りまでが集える総合施設へと転換すべきではないでしょうか。本を介して老若男女が関わり合える絶好の場になり得ると考えます。
老朽化でも残すべき建物は耐久化し、不要なものは跡地を公園にして有効活用がよいと思う。（災害時の避難場所として利用できるため）
市民文化会館や総合体育館、中央公園等、市民活動の中心となる施設を重点的に検討してください。
何事も市民第一で進めていただきたい。
自治会・町内会など地縁に頼らない社会システムの構成が必要。
自治会等の陳腐な組織のために施設に税金をかけなくて良い。
新市役所を建てる時きましたが、当初と内容が変わってます。当初の構想で進めればと思います。現市役所の建物は古く新築が必要と思います。市税を使いますが家賃収入などで補う方向で良いと思ってます。
交通アクセスが良い高齢者向けの施設を、もっと増やしてほしい。
行政サービスなどに興味のない人にも関心もってもらえる、周知する方法検討してください。同じ市民税を払っているのですから平等に利用してもらいたい。
集約化共有化も大事な視点だが、高齢化モビリティの観点から、拠点の近さ（＝多さ）も視野に入れておきたい。
アンケートの設問内容が難解で理解しにくいです。
無駄のないよう、活用できることは活用してほしいです。
もっと具体化した質問にはならないのだろうか…。
再編とは、必ずしも広げるのではなく既存の活用や、広場としての空間の活用も大切だと思う。
100～200人規模で入れて、イスのないフラットな状態になる、土足で入れる場所が欲しい。
歴史的建築物も多いので、それらの維持が大事。
防災対策の名目で、何でもかんでも修繕・建て替えを行うのは反対だ。
横浜の中心部に住んでいますが、まだまだ地域住民同士の交流が不十分に感じます。安心・安全を第一に考えた上で住民同士の横の繋がりに結びつく再編整備を希望します。



<p>現在判っていることは高齢化社会での少子化だけです。今後少子化が継続するのであれば無駄な施設の廃止、学校他の統廃合も必要です。税金が望めない以上、とにかく頑丈で低コストの建て替えを検討いただきたい。</p>
<p>公共建築物はなくしてもよいものが多いのではないかと。新規建築だけ推進する自民党風の考えはやめてほしい。</p>
<p>市民プラザの運営にも関わったが 私物化ともとれる利用の放置 管理の不作為 施設の必要性、運用が大きな問題 税の無駄遣い、垂れ流しが現状。</p>
<p>施設の運営費用を可視化し、市民にコスト感覚を持たせる。</p>
<p>小学校と地域が協力しなければ多世代の交流や地域コミュニティは難しいと思います。その為にも次世代のコミュニティ施設は必要だと感じます。</p>
<p>今回の質問は大変わかりにくい。特にQ1の内容は行政用語の羅列。</p>
<p>新たな施設を造ることよりも、既存の施設を改造して、いかに管理コストを削減するかということを実際に考えることが必要だと思います。</p>
<p>公共施設は、利用機会の平等、受益者負担の強化を進めるべきだと思う。</p>
<p>小規模で老朽化が進んでる施設は撤去し、出来るだけ「駅前に」大規模複合ビルに集約するのが、利便性、収益性からも得策だと思う。例えば〇〇区役所のような。</p>
<p>公共建築物は数カ所にまとめ、その他は売却し経費の削減に努めるべきだ。</p>
<p>この機会に、本当に必要かどうかよく精査し、優先順位をつけ、必要性の高いものから予算を割り当てるといいと思います。</p>
<p>独身者(若者)が入れる市営住宅を作って欲しいです。</p>
<p>受益者である地域住民を活動に巻き込むことでコストダウンと利用者意識向上の両方を狙える。</p>
<p>新設や建て替えは不必要。</p>
<p>危ない、使われていない施設の整備を有効な施設に変えるは大切だと思うが別の方法でできることがあれば、して欲しい。</p>
<p>人口減少地区の施設を重点的に減らすべき(既得権として残っているケース多し)。</p>
<p>コミュニティハウス、地区センター、地域ケアプラザなど違いが不明瞭。設備・施設の目的がわかる名称を希望する。</p>
<p>難しい問題ですね。低コストで賄うためにアウトソーシングもひとつの方法かと。</p>
<p>教育の場としての小学校はスペース仕分けや利用時間帯の工夫をすれば、十分地域活動の核になると考えられる。また、地域住民が普段使いとして学校を利用することは学校にとっても開かれた教育としての効果が得られる。</p>
<p>必要度合い、利用度合いに応じて修復維持か移転を含めた建て替えか慎重に検討すべき。(建て替え時には償却計画もしっかり立てる)</p>
<p>景観や歴史的に配慮したデザイン</p>
<p>平日利用が出来ない市民向けの土休日サービス施設の拡充をして欲しい。</p>
<p>公立学校毎に地域図書館を小さいながら開館すれば図書館数が増え利用しやすい。蔵書が少なくとも連携で取り寄せ可能にするなどアイデア次第。</p>
<p>税金を有効に利用していると思えるように進めて欲しいです。</p>

施設総量の削減が必須と思いますが、関係団体からの反発に正面から向き合って進められるか否かが鍵だと思います。
多世代が相互に交流できる施設が数多く欲しい。耐震強化策も並行して実施することも必須。
少子高齢化時代を迎えるので新しい施設というより今あるものをどのように活用・維持していくかが大切。
子育て世代が外出時に困らないようにもっと授乳室を作るべきだと思う。エレベーターも設置していない駅はありえないと思う。そのような設備がないと子供を増やせないと思う。
市は北仲へ新市庁舎を建設するようだが、であるならなぜ数十億円もかけ旧庁舎の補修工事を行ったのか！？ 無駄遣い以外の何物でもない。責任をとれ！！
人口減少なので、新規整備は、困難ですが、だからといって、50年、60年たった学校、役所をそのまま使用するのには、問題だと思います。優先順位をあげて建て替えるべき。
まずは現状の把握を行い、その結果を市民にオープンにすることが最初の一步だと思います。
横浜市の区役所などの施設を含めた、税務署やハローワーク、年金事務所、県税事務所なども入居した公共施設を各区の主要駅に建ててほしい。
一部の人しか利用しない施設は処分してほしい。
横浜市役所、西区・神奈川区の公共施設は、横浜駅から徒歩圏内だと乗り換えなしで出張できる人が多くなる。交通費の節約になると思う。公共施設は1か所にまとまっていると利用しやすい。
今回のアンケート難しいです。
地域ごとにニーズが異なるはずなので、より細分化して検討してほしい。
〇〇跡地のように、私利私欲を目的に陳情をなした団体や関係者に対し、一般入札で売却せぬような法整備が必要。
施設利用にあたり、目的、利用者による料金を、一律にする。また、人気のある施設を高額設定にする。人件費が一番高いので、利用の頻度で、料金を変える。
民間との連携は必須だと思います。効率よい運営をしていただきたい。
老人いこいの家などの補助。
結婚の切っ掛けとなる場を市が主体となって設け、子作り子育ての支援を十分に且つ積極的に行い、少子高齢社会化に対して早期に対策を立てなければならない。そこから自ずと公共施設の活用等の取る道が見えてくる筈だ。
税金を払っている人自身向けへのイベントが少ないかと。よって、施設を活用しているのに無い気がする。
東京オリンピック・パラリンピックでの国際的でバリアフリーな利用も視野に入れる。それが将来の高齢化対応につながる。
新市庁舎はエレベータなく毎日階段で4F上り下りしてる団地の人より先ですか？ 必要だとしても、必要な事業どうし並べて優先順位の比較を。オリンピック前とかありえない！！
市の公共施設のうち、特殊な設備を必要としないものに関しては、民間の賃貸物件を利用するなど、思い切ったコストダウンを図ることも検討していただければと思います。
市の公共施設とはいえ、学校以外は利用者の使用料で施設の維持管理をまかなえるようにすべき。
アンケート内容と関係ありませんが、なんでも所得制限を設けるのはやめてほしい。子供関係、特に医療費は所得制限を撤廃してほしい。

子供の減少が進む中心部では、小学校と中学校の統合を進めるなどして、その結果空いた教室を地域の活動に使えるといいのではないのでしょうか？
利用しやすく安全な施設であってほしいです。再編整備に合わせて統廃合するとともに巡回バスなど充実させてサービスが行き届くようにしてほしい。
保全・点検等の運営を民間団体に依頼する旨の内容が素案にありましたが、その場合利益追求な故の質の低下を防ぐ機能する監視機関の設置等も併せて必要だと思えます。
地域活動は年齢でどうしても意識の差が出やすいので、小さいころからなじめるよう教育活動の中に織り込んだものをもっと増やしてほしいと思う。
地場の企業の公益性のある事業などに安く場を提供するなど、民業支援に活用してほしい。
少子高齢化に相応しく、また横浜らしい再編整備を希望します。
まず、市民の安全と安心を考えて欲しい。
これから起こりうる大規模な災害の前に、早急な老朽化した箇所の点検・修理を望みます。
地域の健康な高齢者と若い世代の人たちが協力して子育て出来る場所が欲しい。
箱物が多すぎる。市役所の新築を含め見直しが必要。市役所機能が関内地区に一極集中は震災等の災害時に問題有り。分散の必要有り。
今回アンケート記入のために調べて初めて身近な地域での催しを知り、参加者増加、収入増加のためにはもっと広報が必要だと思いました。民間との連携を深めるべき。
施設の分室が地域に身近に有れば良いと思います。
地域活動の核になるものと考えたとすると、民意を持った方々が居る所になってしまいます。
移転後の〇〇総合庁舎跡地がどうなるかのアナウンスが少なすぎる。区民でさえ周知されていないと思う。
多目的な施設がたくさんできれば 交流も活発になるのでは。
市内の公共施設の現状など(メンテ状況や老朽化現状等々)を、広報横浜やHPなどで特集してほしい(内実を知りたい)。
箱ものの的な整備に依存せず、利用価値のあるものにしていくべきだと思う。
〇〇庁舎跡地等関心を持っているものもあるが、ほとんど市民に知られていない。多くの人に関心を持ってもらう広報の方法について検討したらどうか。
NPO等の起業との連携、若者の仕事の場が必要。
再編後のマンパワー活用を見据えて取り組んでほしいと思います。
公共施設は残念ながらごく一部の方しか活用されていないように思います。誰でも使いやすくなるような努力が必要だと思えます。
行政ならではのバックアップ機能がある。なんでも効率化では切り捨てられるものが出る懸念。
施設の立地条件、利用状況を勘案した効率的で財政にやさしい運用を望みます。
自助を基本としつつ、高齢者に適切なケアとヘルプが行き届くような行政を目指す。
存続にも取り壊すにもお金が必要です。民間企業等との連携も必要です。
箱物建設で納得がいかないのが、屋根の無い「日産スタジアム」。前知事の大失敗です。市民として、これ以上の出費は必ず避けてほしい。
有事の場合の避難場所となることを想定した整備・維持管理を進めて欲しい。

地域の役員で色々公共施設を利用し、講座を企画したが、稼働率は本当に低いと思った。図書館やスポーツセンターのように人の集まりやすい所に集約した方が人の交流、施設の利用も増えると思います。
身近に図書館がない。ネットで申し込んで駅で受け取れるようにするなど簡便な方法を考えるべき。
箱もの行政から、地域・民間との共生でローコスト行政を目指すべき。
歴史的建造物でなければ、複合施設等効率化を考えて、建て替えも考慮に入れる。
健康な老後を考える中でスポーツセンターなど安価で使いやすい施設の設置を検討していただきたい。
公共建築物マネジメント 民間・住民を一体とした管理運営・維持を図りたい。それには、我々の公共施設に対する意識向上が大きい。
効率化やコスト意識は大切ですが、建物における「横浜らしさ」は失わないでほしいと思います。
実利用者数と維持費のバランスが重要。特に利用者数は延べ数ではなく、実際にどれだけの市民が利用しているかの実数が必要。反復利用の人がいる反面、利用していない人が多い実態を評価項目の中に参入すべき。
住民と協働して行うことでコスト削減、サービス充実をはかる。
以前からの住民と新しく移り住んだ住民との交流をどのように促進できるか、難しいのですが今後の高齢化が進む地域での助け合いの核になると思います。
色々な方法を試して頂きたい。住民等とのコミュニケーションを第一としていただきたい。
最近 フィットネスクラブ等のスポーツ施設が各地にあり、多くの人が使用している。PFI の手法を導入して収入源にしてはどうか。
災害時の拠点としての役割も必要。
民間企業のノウハウをもっと活用すべきで、1 施設の中でコラボさせるべきと思います。
慣習や過去にとらわれずに、施設の再編をすすめ利用の拡大化を進めるべき。
新しく建築物を造るのは良いが（必要であれば）対応年数や維持コストの予算をきちんと組んで始めて欲しい。
老若男女、子供等関係なく集える場所が近くに（催し）できること。数ある交流場。
各集合住宅自治会間の日常的な交流・連携。
学校などの再整備については災害時の利用を考えてほしい。
定年後まもなくの人など、まだまだ人のお役に立ちたいと考える人はたくさんいるはず。これらの活用を考える必要があると思う。
市役所建設を目前にして、いかにもドロナワ的で見苦しい。中長期的な計画を前面に出したアンケートでありたい。
機能の重複した施設（たぶんあると思います）の軽減化を検討してほしい。
民業を圧迫しないようにと高い利用料を取る施設は、不要ではないでしょうか。
利用率が高いといいながらも、実態は一分の利用者か固定的に利用している施設が多い。廃止か適正有料化すべき。
民間企業との連携も考えて欲しい。
ニーズと将来展望をすり合わせていくことが大事だと思います。
歴史的に貴重な建築物の保存には、多少の経費がかかってしまう場合でも、積極的な対応をお願いしたい。
民間の活力をいかす方法を見つけ出すことが大切と思う。

職員の再就職先となっている中で、無駄な施設がないのか再点検することも必要と思われる。
再編整備には、建て替え、リニューアルだけでなく、場合によっては取り壊しも含めて検討すべきだと思います。
1 地区 1 設備にとらわれず効率重視の再編整備が必要だと考える。
税収の伸びが期待出来ない現状より、箱物から草の根へ。地域活動へよりシフトが肝要ではないか？
最近 マナー低下 まず 公共施設利用での約束事を 利用する側にも 確立してほしい。
横浜市は、大雨とか。警報の防災無線はないのですか、私のところは横須賀の防災無線しか聞こえてきません。
指定管理者制度から一步進んだ民間施設に役割を分担させる制度。
少子高齢化は今後の日本、横浜にとっても重要なテーマ、税収の減少、利用者の減少が予想される中、県、市の枠に捉われずに柔軟な発想で取り組んで欲しい。
多目的に使える施設があれば助かる。
居住地の災害時避難先は1. 5万人に対して小学校一つ。無いに等しい。
〇〇区は〇〇跡地の耐震性を有する建築物の取り壊しという愚行を進め、公園を拡張という費用の無駄を断行。
災害時の活動拠点の中心が小中学校だと思うけど、補助するための施設としての地区センターの役割が必要だと思います。
一般市民が利用できる会議室や交流場所を作り夜間も含めて開放する。
一番は少子高齢化にどう対応するかが重要だと思います。震災に備えた効率的な施設の活用も必要だと考えます。
広報の充実が必要。
ニーズの変化を正しく予測した上で、優先順位を考慮し、それに合わせて適切な施設増減・改善とサービスを提供することが最重要。受益者負担の大幅増、役務提供に高齢者活用、民営化により費用を大幅に削減する。
公共建物の範囲を明確化する必要がある。必要性の判断が市民にとって不明。
再編整備には地域住民の幅広い年代の意見を集約し、結果を広報等で説明し、段階的に方向を決めて行って欲しい。
壊してしまったら戻りません。建て替えよりよい方法を横浜市は実行しているのだからその方向で今後も行っていくべき。
図書館については、新刊の新聞・雑誌等の閲覧中止、新刊小説（発売後1年程度まで）の貸与中止、管内閲覧席の有料化等により、無料の過剰サービスを見直し運営経費の削減と効率化を検討してほしい。
プレゼントの季刊誌、少し古すぎませんか？せめて2013年版を。
Q3は、近くの小学校や中学校も地域活動の核となるように、普段から地域の人々に解放しておくことが大切だと思う。
利用状況や評価の低い施設の廃止、例年多額の補修や修繕費を要する施設の廃止、利用状況の適正化等とともに多目的利用や複合施設の設置を考える。
箱モノを作る事は、将来にわたって、維持管理する費用が掛る事を充分考えた上で実施して欲しい。
防災拠点または一時的避難所としているところが良い。防災イベント月1回定例に。
公共施設で一括りせず用途による細かな分類をすべきでは。

地域活動の核施設としては昔から学校が利用されてきたが今学校は極めて閉鎖された施設となっているこれはおかしい。
少子化、高齢化は確実であり、公共建築は絶対数を減らすほうがよい。
区役所は市の出張所なので住民課だけでよい。あとは市役所であれば場所代も職員も減らせられる。
〇〇公園内の野球施設の利用を地域住民限定でも改善をお願いしたいです。そのための施設整備員補充はかるべきだし地元小中生最優先で使えるように。
市民中心の検討会など幅広い意見の聴取に努める。
少子化や高齢化を考慮しての検討を充分に行う必要があると思います。
子どもが減っているわけですから、小中学校をもっと活用すべき。またシニアのボランティアを活用すべき。
施設の利用に関しては受益者負担の原則を徹底すること。
私は未婚で子育ての経験はありませんが、幼い子供を抱えた若いお母さんの苦労が軽減されると良いと思っています。
図書館については社会教育法や図書館法に基づくミッションを確保すべきで安易な民営化には反対。
各施設ごとの年度別事業内容、収支内容の市民への公開をもって施設に携わる者のモチベーションを高めることが必要。
税金が少ないから、何もできないは禁句。ない金で工夫するのが肝要。
高齢者増に対応不足がある養護介護老人施設に転用することが重要なことのひとつだと考えます。これら施設を新規に造ると相当な費用がかかり対策に遅れが出るので、既存構築物の改修で早く安く易く実現化が求められる。
将来横浜市を築かれる小学生中学生の施設の老朽の整備を希望します。
公共性のPRを強化して下さい。
小幅な受益者負担増もやむを得ないと思う。
最近の異常気候変動及び温暖化を充分配慮して検討計画すべきである。
施設の集約化がベスト。高齢者の集散の支援策が必要。高齢者施設の送迎バス運行に無駄あり、集約化で扶助費削減に。一方で広域エリア循環バスの体系的な整備で施設への集散を支援。
管理組合役員の高齢化のため、第三者の理事の選任。
コミュニティハウスと地区センターは同じような活動をしており、その区分ははっきりしないので、統合や共同運営を図ってもよいのではないかと思う。
郷土資料館を各区ごとに造る。
各地域で高齢化が進み、各学校まで徒歩で行くのは大変で、近くの町内会館なども候補にしてほしいと、思います。
多目的に（講演会などにも）使用出来る大小の会議室を整備していただきたい（瀬谷区の場合だと50人ぐらい入れる会議室がない）。
高齢者の場合、利用できるのは、自力で移動できる範囲でないと・・・難しい。
安く建て、安い維持費で運営。経費節減。
このアンケートの目的、狙いが分からない。
民間人の活用、公民連携の推進が肝要と思われる。
全てが厳しい時代です、先送りしないで実行できる事から一步前進する。

市民に対する活発な広報活動を願う。
行政コストの削減を忘れるな。
施設再編整備など設備の改編も必要だが、その恩恵を受ける地域住民の連帯感を強めることが肝要。
利用費をもっと高くすべき。
少子化、人口減の傾向を勘案して進めて下さい。
ある目的、資格取得のための学習に、図書館へ連日通っています。高齢者から若者までの男女の多くの方が学んでいるに接して、強い感銘を受けています。
施設を複合大型化する 未施設は売却する。
町内自治会と協働で防災及び環境整備《美化・清掃等》の拠点として活用出来るよう再編整備してほしい。
高齢化社会に応じた、高齢者の誰でもが簡単に参加出来る優しい活動を期待します。
市営住宅は焼却工場、港湾施設、河川護岸と同じ費用を掛けているが市民の要望に答えるだけの戸数がなく抽選で当選する運、不運だけで大変片寄ったように思われる。住宅の真に必要な者、その資格、条件を考える時。
少子化で廃校になった跡地などは複合施設として有効に活用すべき。
Q1は案件ごとに判断基準が異なりますのですべてにチェックをしました。
国では遅れている高齢化対応として、変な規則などなく気軽に寄り集まれる施設を増やす。
Q3 同列に論じる問題でない。設問が練れていない。
折角、業務部署統合等で空いた建物を地域で有効活用させて欲しいです。各区分権化を促進して各区で検討可能なようにすべきと思います。
各施設が似通った企画を実施していてどこに相談すべきかわからない。
地域にこだわらず、他地域の人を呼び込む活動にする。
担当地区の住民、老若男女が平均的に使用できる様に施設の配置・設置にすべきである。
公的空地の周辺で大人子供と共に地域行事として木の実を採取して育てて定植・又野草(すみれ等の花の咲く多年草)や野草化している草花も採取して育てて又種も採取し株分けもして育ててその上でなお工夫して管理もすることで情操教育とすれば。なお継続すれば昨今の世相改善となると信じます。
〇〇体育館(主たる興業はプロレス)、〇〇図書館とコミュニティセンター(所蔵の書物が古すぎと移設するか建替ではないか)、各地プールなど。
スポーツセンター等の公共施設はこれからも必要性が高く、そのためバリアフリー化や災害時の施設にて転用できる様に改善構造が必要と思っています。
公共建築物の所有を極力減少させ、民間によるサービスをより広く活用すべきと考えています。
施設を利用していない市民の意見を聞き、取組に反映させるべき。声の大きい特定の利用者の為に多額の税金が投入される事態は避けて頂きたい。
各エリアの住民層にあった活動をしてほしい。区によって格差が無いようにしてほしい。
高齢化に伴って福祉等にかかる予算の増大が予想されており、それ自体は否定できない傾向ではあるが、その抑制のための取組をもっと多様化、深化できる。高齢者の健康維持や促進に行政として果たせる事柄はたくさんある。

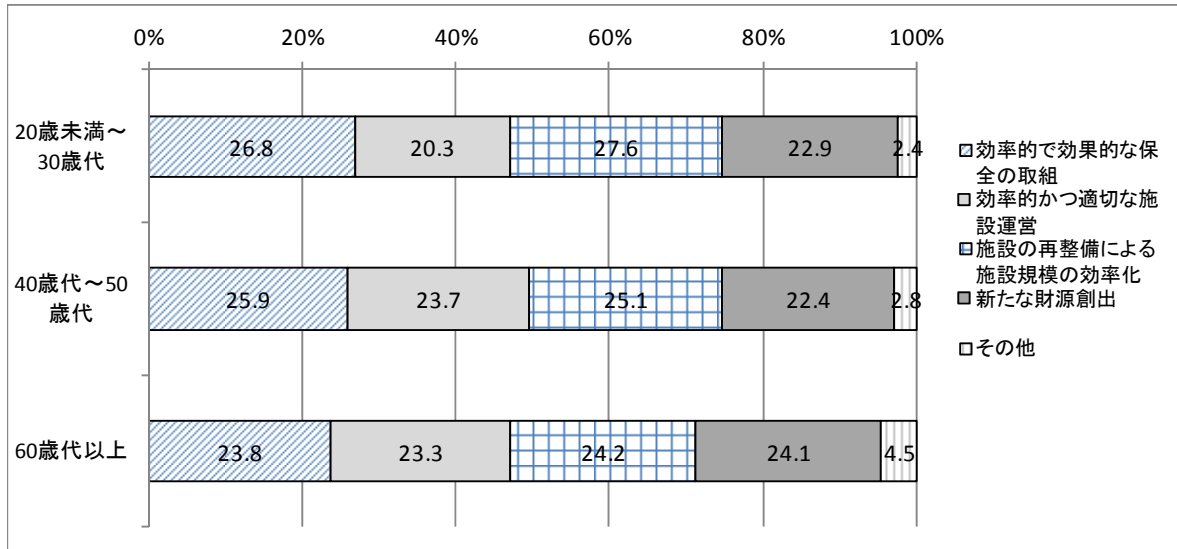
建物の正常な使用可能年限 50 年は悠長に構えてる。25 年で人口をはじめ、生活、労働力、教育、通信、教育等は一変する。技術の進歩も正負に作用する。建物と市民へのサービスとの相関性は低い。最初から取り繕わず時代に应变するのが行政のワザでもある。そこで働く人にとり、快適であることが必要条件です。
地域防災拠点の防災備蓄倉庫の拡充に取組強化することを希望します。
公共施設が区内に分散しているため不便を感じています。小学校や中学校へ集約してください。
二世帯家族の収入の検討見直し
小さな施設は地区の町内会等に運営を委託する。年齢制限のない地元住民の働ける場所にしてほしい。
一定の区域で教育・医療・行政手続きなどが一度に済ませることができ、さらには交流し、地域の活性化につながる小さな町の型ができないものか
高齢者が多くなります。施設を多く作ってください。改修や耐震をして。
市民力を軸とした運営、活用が重要と考えます。20～30 歳の方々がより多く参画していく取組が必要と考えます。
団地で保育所を立ち上げる母親のことはニュースになったが、他にも英会話、料理、フラダンスなどやる気のある住民は多い。彼等に場所を与えて地元を活発にすることが良いと思う。災害時の連帯は結束があればついてくる。大きな金をかけなくても効果はあがる。
総務省が策定を要請している公共施設等総合管理計画ではインフラ施設等を含めた計画策定を要請しているが、横浜市の考え方は建築物のみを対象としているがインフラ施設も対象とすべきである。
できるだけ、市内に計画的に配置されている建物を中心に再編整備を行うことと、駅の近くの建物に集約することが効率的と考える。また、災害時に使う建物を中心とすることで災害時の施設運営を行うことにプラスとなることが考えられる。
大切な事は、ないがしろにしないこと、多くの方に集まってもらい、問題を共有し、意見交換して解決する事。
地区センターは大いに活用されているが、図書などは図書館と比べると余りに小規模である。港南台駅付近に港南区図書館分室を設置できないでしょうか。維持管理の人出はボランティアの人を活用できるとおもいますが。
諸施設の運営を民間に委託する方法をもっと多く取入れるべきである。
〇〇区役所の移転は愚策の最大のもの。何故区の端か。何故津波にあいやすい場所にするのか。区民の意見を聞いていない。



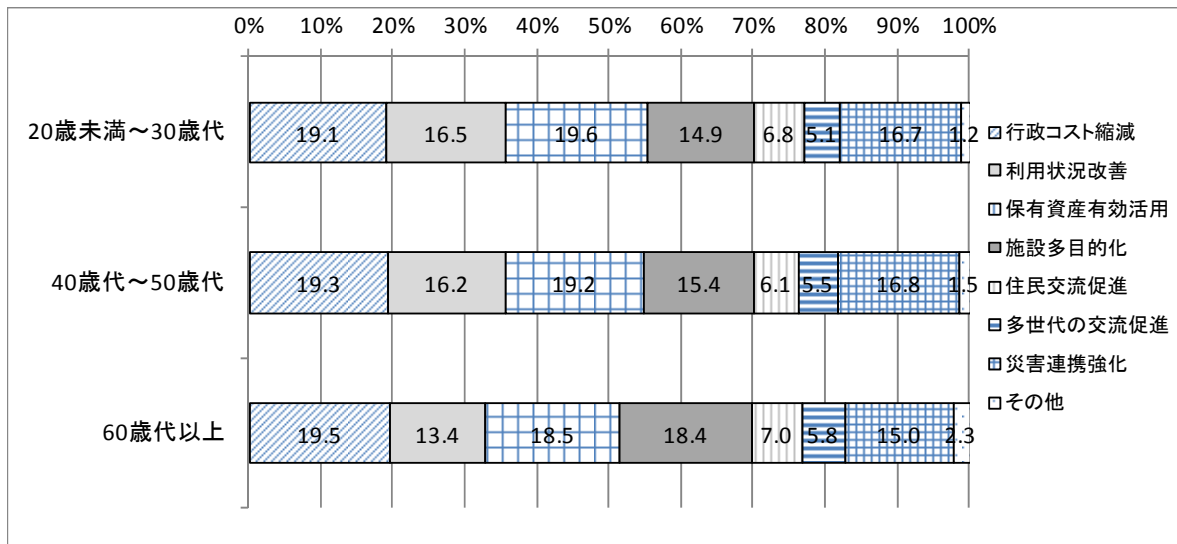
#### 4 アンケート年代別集計

それぞれの質問を各年代別で集計した結果、各設問とも年代で大きな差は見られない。

Q1



Q2



Q3

